

**患者・市民委員（第1期）の募集について**  
～信頼できるゲノム医療・研究を目指して、あなたのご経験に基づく助言を求めています～

2023.1.27.

日本医療研究開発機構（AMED）ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム  
「ゲノム医療・研究推進社会に向けた試料・情報の利活用とPPI推進に関する研究開発」  
（研究開発代表者：吉田雅幸）

我が国の医学研究や創薬の現場では、[「患者・市民参画（PPI）ガイドブック ～患者と研究者の協働を目指す第一歩として～」](#)（2019、日本医療研究開発機構）の刊行を契機として、患者や市民とともに実施する研究スタイルが少しずつ浸透しています。ゲノム医療・研究の領域においても、がん遺伝子パネル検査や全ゲノム解析等実行計画においてPPIの試行が進んでいます。

私たちの事業（略称：AMEDゲノムPPI班）の目標は、PPIのもとで、ゲノム医療・研究を推進するためのコミュニケーションと信頼の基盤を構築することです。この事業を推進するにあたり、私たちと一緒に議論を進めて下さる患者・市民委員を募集します。以下の案内をご覧のうえ、お申込み下さい。

**1. 患者・市民委員にお願いしたいこと**

- ① 医療者・研究者等が今後のゲノム医療・研究におけるPPIの重要性に理解を深められる環境づくりを目的として、PPIの留意点や具体的事例を学ぶ機会と支援を提供するための助言（口頭及び文章）
- ② 今後のゲノム医療・研究におけるPPIに参画できる患者・市民人材とコーディネーター育成を目的として、PPIの留意点や具体的事例を学ぶ機会と支援を提供するための助言（口頭及び文章）
- ③ その他、事業の進捗に伴って生じる事項に対する助言

**2. 具体的な活動内容**

- ① 班会議への参加（2か月に1回程度の開催、1回1～2時間程度を想定）
- ② 外部の有識者を交えた会議（ラウンドテーブル）への参加（年に2回程度の開催、1回2～3時間程度を想定、第1回目は2023年3月16日（木）15時30分～）
- ③ メールやSlackなどでの資料確認や意見交換（随時）
- ④ その他、進捗に応じて生じる活動へのご協力については、随時相談のうえ決定

※会議等は、日程調整を行いますが、平日の日中に開催される可能性があります。原則的にオンラインもしくはハイブリッドで行う予定のため、東京圏以外に居住されている方のご応募も歓迎します！

**3. 募集人数：複数名（多様な立場の方の協力を得られるように選考予定）**

**4. 活動期間： 2023年3月から2024年3月を予定（2025年3月まで延長の可能性あり）**

**5. 応募条件：以下の全てを満たす方**

- A) ゲノム医療・研究に興味をお持ちの18歳以上の方
- B) パソコンやタブレット端末の操作ができ、MSワード、PDF、メール、Slackでの作業ができる方
- C) オンライン会議システム（Zoom、WebExなど）を使用し、オンライン会議に参加できる方（通信にかかる費用はご自身で負担）
- D) 現在、ご本人とご家族が本研究班及びゲノム研究・医療に関連する組織に所属していない方

## 6. 選考の流れ

### ① 書類選考

- エッセイ、志望動機、これまでのご経験、連絡先等を応募フォームから入力
- **応募フォーム**：<https://questant.jp/q/genomexppixreqrt>
- **応募締切日**：2023年2月13日（月）



### ② 書類選考の結果通知

### ③ 面接選考

- 書類選考を通過した方のみが対象、原則としてオンラインにて実施

### ④ 面接選考の結果通知

- 守秘義務の誓約書提出、利益相反の申告、PPI活動に関する簡単な研修受講等の完了後に活動開始

## 7. 謝金・旅費の支給

- 1か月あたり約15,000～20,000円程度を銀行振込にて支給
- この事業で実施する行事等の参加のための旅費は、規程に則って支給

## 8. この事業に関連する情報（外部サイトにリンク）

- [この事業のウェブサイト](#)
- [この事業が採択決定された時の情報](#)
- [日本医療研究開発機構「研究への患者・市民参画」ウェブサイト](#)
- [「研究への患者・市民参画」に関する説明動画](#)（約5分30秒）

## 9. 患者・市民委員募集に関するお問い合わせ先

[ppinfo@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:ppinfo@ims.u-tokyo.ac.jp)（メールの件名に「AMEDゲノムPPI班の公募について」とお書き下さい）

以上